

解説 3

成形事例にみる サーボ化が可能にする 高付加価値加工への優位性

アイダエンジニアリング(株) 下間隆志*

近年、塑性加工製品の高精度化や高付加価値化が高いレベルで要求されるようになってきている。また、製品の材質についても軽量化などの観点より高張力化が求められている。これら要求に応えるために、金型を搭載するプレス機械側に要求される機能も多様化しており、近年普及が進展しているサーボプレスへのニーズも高まっている。将

* (しもま たかし) : 技術本部 要素設計部 金型装置設計課 課長

〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1662
TEL : 042-772-5231 FAX : 042-773-5803



写真1 ダイレクトサーボフォーマ (DSF-N 1-A シリーズ)

来も含めた金型工法の開発や加工内容の変化に柔軟に対応できるプレス機械として、その期待は大きい。サーボプレスのモーション設定を利用した成形性や生産性の向上などによる高付加価値加工への期待が高まっており、サーボプレスの有効な活用方法の提案が急務となっている。本稿では、サーボプレスの多彩なモーション設定を活用した成形事例を紹介する。

サーボプレスとは

サーボプレスは機械プレス的一种であるが、フライホイールを介さずに、スライドをサーボモータで駆動するプレス機械である。駆動方式には各社でさまざまな構造、機構が採用されている。当社製汎用サーボプレス (商品名: ダイレクトサーボフォーマ) は、サーボモータと駆動軸を直結させた機構 (ダイレクトドライブ機構) を最大の特徴としている (写真1)。また当社製サーボプレ

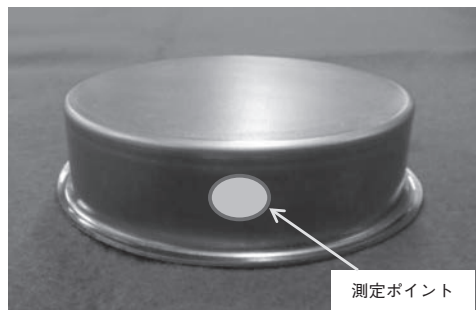


写真2 抜き絞り製品と測定ポイント